



理研ビタミン株式会社

証券コード：4526

2023年度 決算説明会

2024年5月23日

1. 2023年度 通期業績

2. 2024年度 業績見通し

- 売上高は3.1%増の**914億円** ※過去最高
営業利益は30.9%増の**93億円** ※過去最高
為替影響を除く前年比 売上高+1.8%、営業利益+29.6%
- 労務費・人件費の増加を売上総利益の増加でカバーし、各段階利益は中期経営計画の業績目標を前倒しで達成
- 国内食品が売上高・営業利益を牽引、国内化成品も利益伸長
海外は前期の反動で減収減益も、10%以上の利益率を維持
- 配当は22年度から22円増の81円を予定

売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新

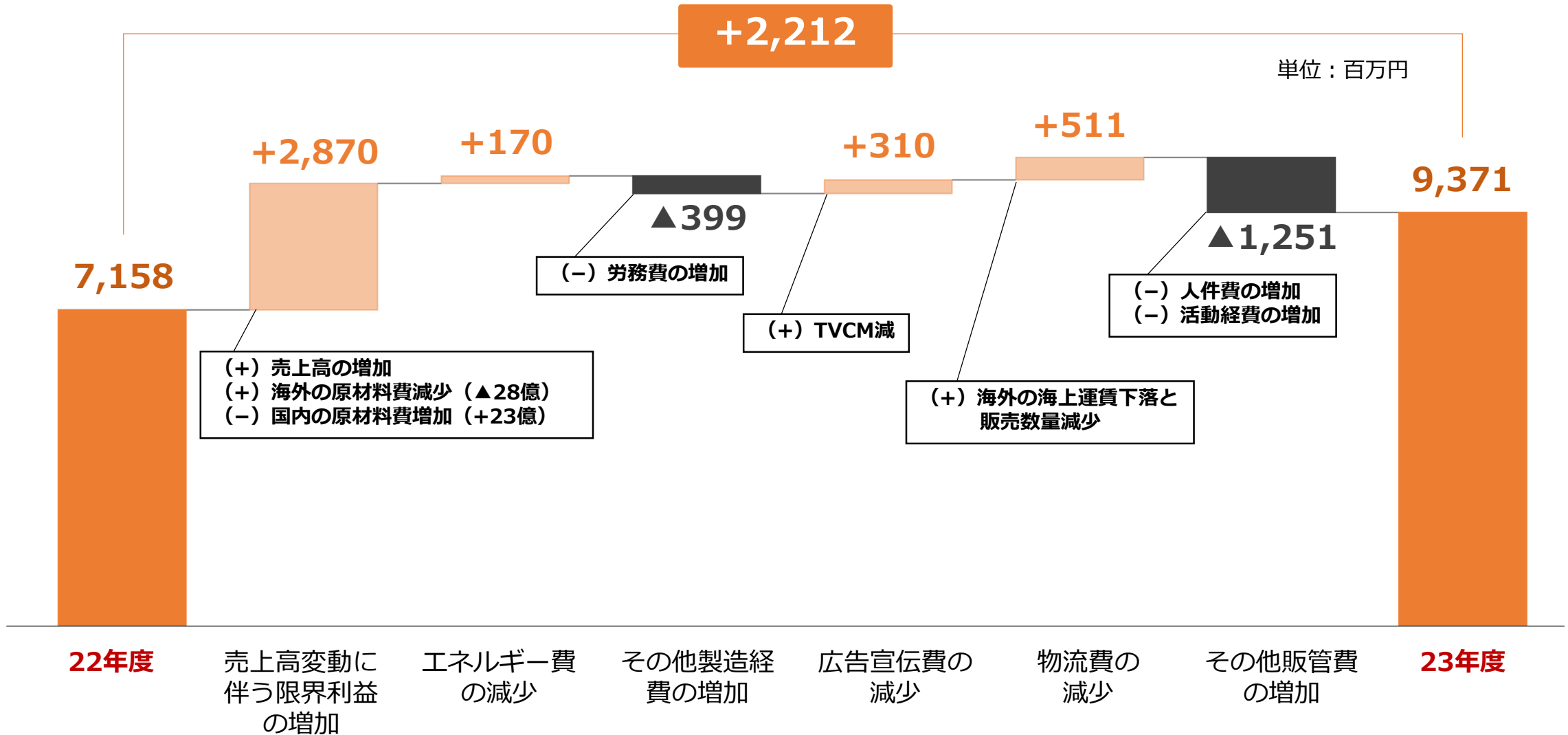
単位：百万円

	2022年度 通期	2023年度 通期	前期比		業績予想 (2/9)	業績予想比 増減額
			増減額	増減率		
売上高	88,750	91,484	+2,733	+3.1%	90,600	+884
営業利益	7,158	9,371	+2,212	+30.9%	8,900	+471
営業利益率	8.1%	10.2%	+2.1pt		9.8%	+0.4pt
経常利益	7,723	10,296	+2,573	+33.3%	9,700	+596
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,414	8,755	+2,341	+36.5%	8,200	+555
ROE	9.3%	11.8%	+2.5pt		-	

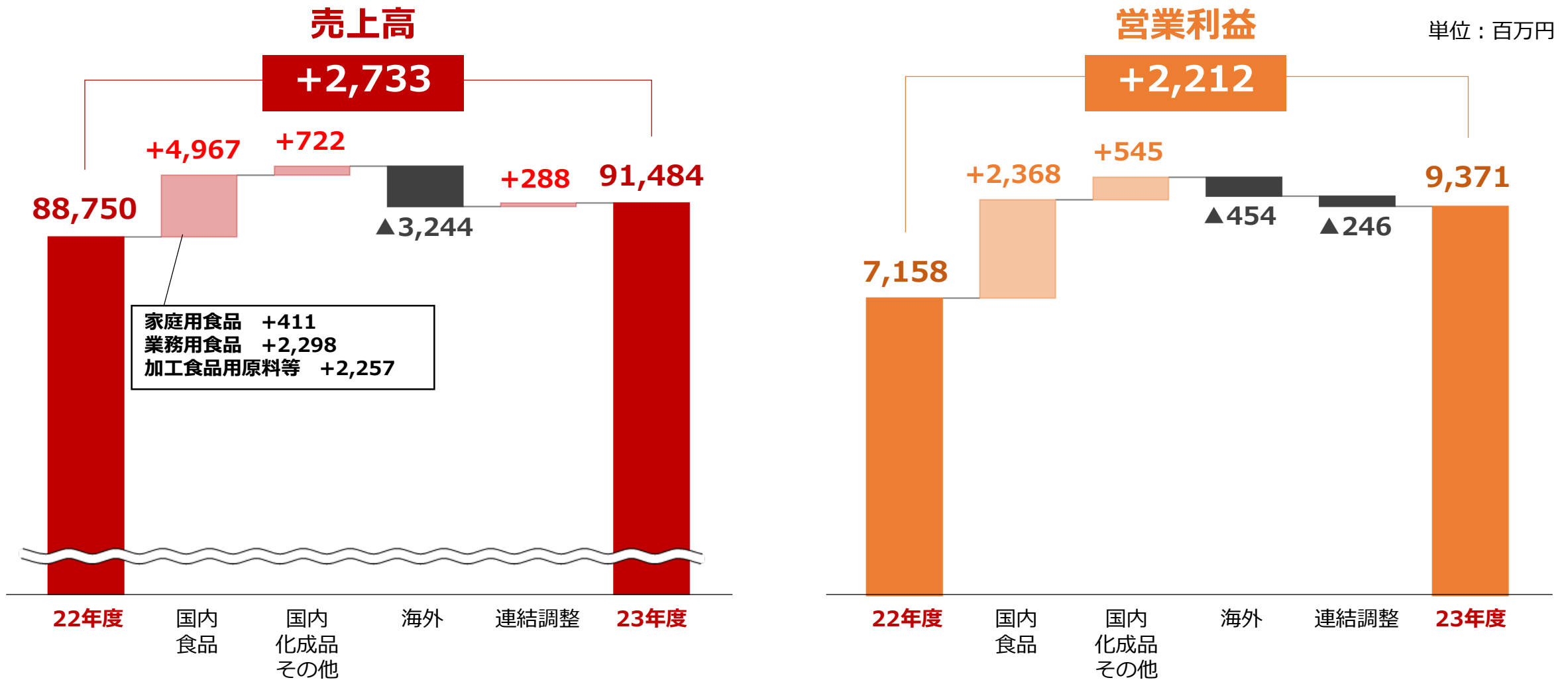
為替影響額：売上高+1,137百万円、営業利益+93百万円

期中平均レート：2022年度 136円/\$、2023年度 145円/\$

営業利益の増減要因

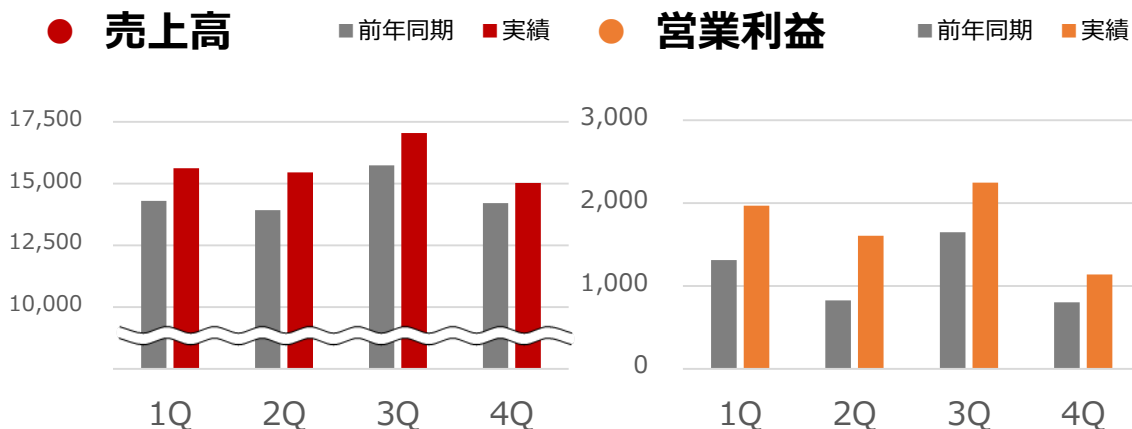


売上高・営業利益とも国内食品事業が牽引



国内食品事業：増収増益

単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	58,186	63,154
営業利益	4,593	6,961



- 家庭用食品はヒット商品が売上を牽引
- 業務用食品は外食産業向けの販売が好調
低採算品の見直しなど利益改善も進む
- 加工食品用原料等は食品用改良剤の
価格改定が浸透し利益に寄与

家庭用食品

単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	12,727	13,138

【主要ブランド別概況】

リケンのノンオイル



金額：微減
数量：減少

23年8月に価格改定
数量影響が大

ふえるわかめちゃん



金額：減少
数量：減少

価格改定からの
数量回復に遅れ

わかめスープ



金額：微減
数量：減少

24年2月に2回目の
価格改定を実施

インドカレー屋さんの謎ドレッシング



2023年8月
全国発売開始

出荷数量
年間140万本

ふりかけるザクザクわかめ



2022年9月
全国発売開始

出荷数量
年間370万袋

素材力だし



金額：微増
数量：微減

24年3月に容量変更
実質2回目の値上げ

業務用食品

単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	19,588	21,887

【販売先業態別概況】

● 外食・給食向け

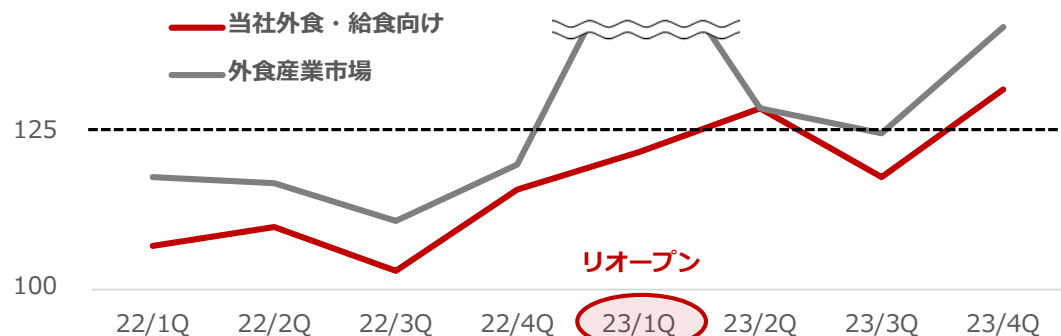
行動制限解除やインバウンドの回復により好調に推移

● 中食業界向け

CVS向け海藻製品が前期に続き販売好調

各種惣菜や即席めん向けの調味料、改良剤が伸長

外食産業市場と当社の売上高推移 (2021年度 = 100)



外食産業市場：(一社)日本フードサービス協会データを当社加工

加工食品用原料等

単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	25,870	28,128

【製品群別概況】

● 食品用改良剤

価格改定効果や新規採用の増加が業績に寄与

製パン業界や飲料業界向けの売上が伸長



● ビタミン

酸化防止用VEは価格改定の影響で販売数量減少

栄養強化用途は販売好調



● その他ヘルスケア商品

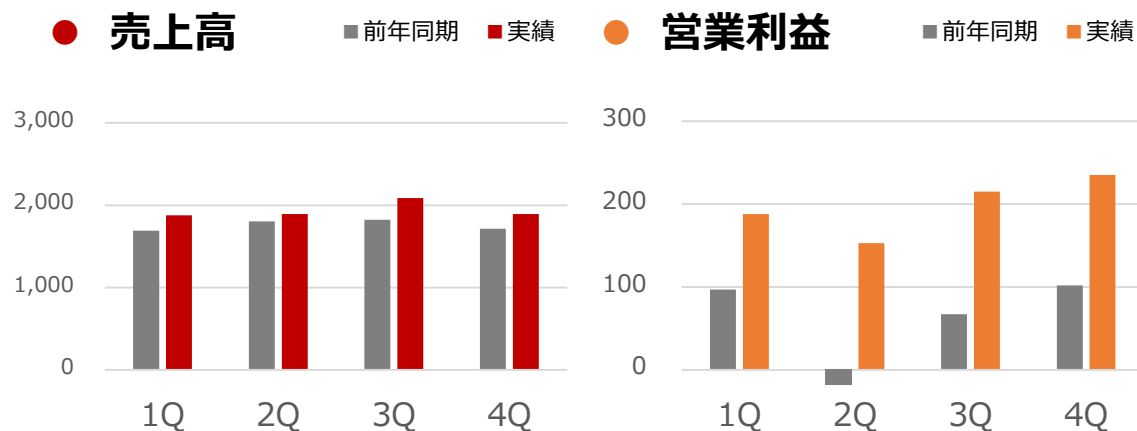
クロセチンやマイクロカプセルが好調

クロセチンは増産体制を整えさらなる需要増に備える



国内化成品その他事業：増収増益

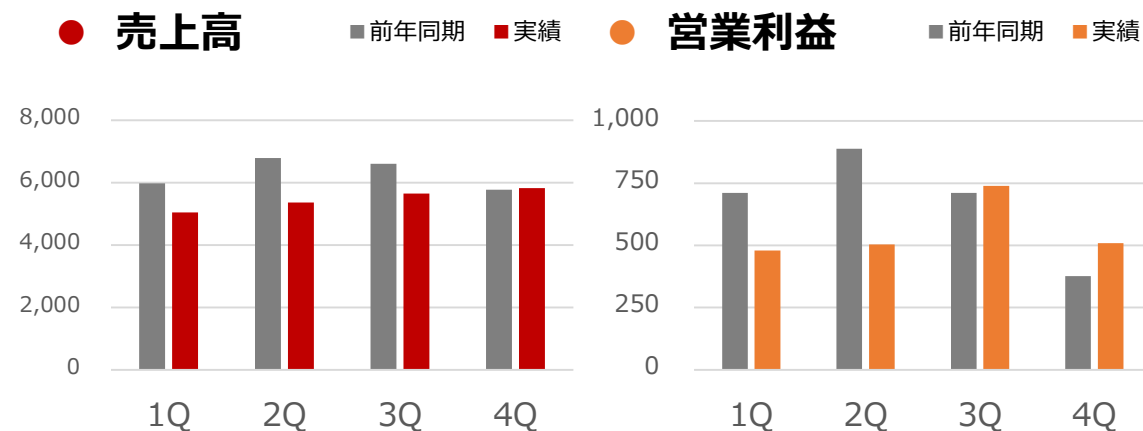
単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	7,031	7,753
営業利益	247	792



- 価格改定効果で営業利益は大幅に回復
- 価格改定の影響と業界全体の需要低迷により販売数量が大きく減少
- 下期は徐々に需要が戻り始めるも工場稼働率の低下が課題

海外事業：減収減益

単位：百万円	2022年度	2023年度
売上高	25,155	21,910
営業利益	2,688	2,233



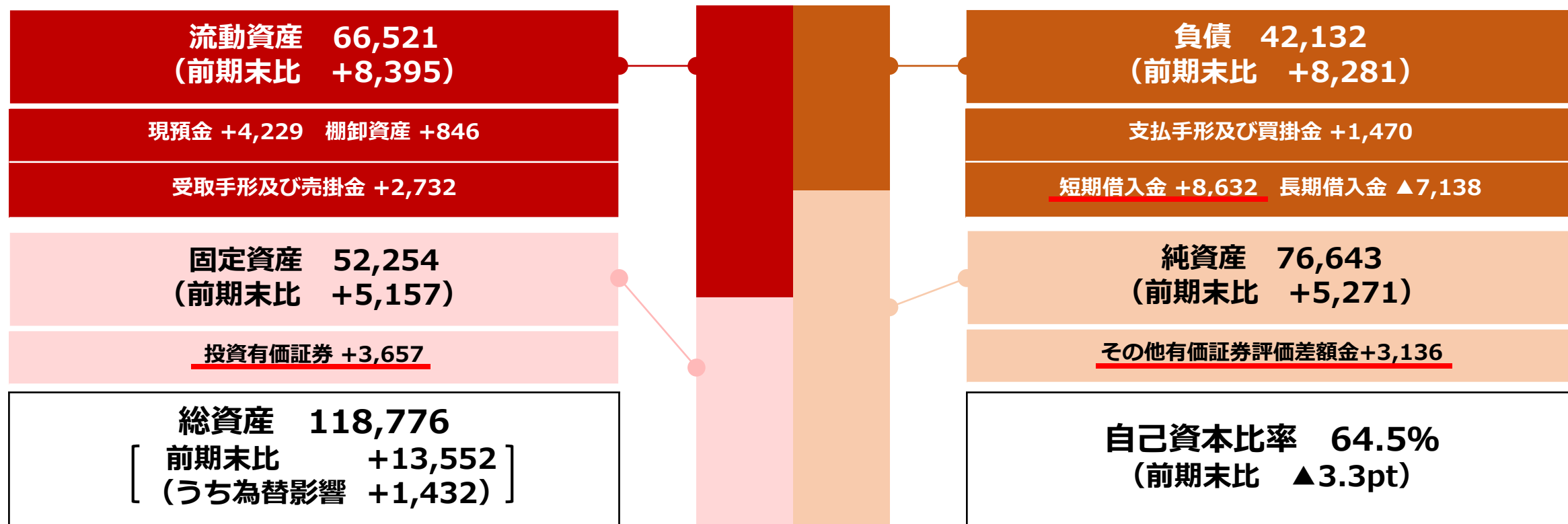
- 欧米では前上期の特需の反動を受け売上高・数量とも大幅減
- 中国は販売数量減少も売上高は増加
- 利益重視の販売方針により利益率は10%以上を維持 (22年度10.7%→23年度10.2%)

業績の好調に加え株高の影響もあり資産が増加

- 投資有価証券の保有数は減少、株高により評価額は増加
- 2/29に実施した自己株式取得※のための資金借入と長期借入金からの振替えにより短期借入金が増加

※自己株式取得
 取得株式数：2,473千株
 取得価額：6,360百万円

単位：百万円



投資有価証券の売却と自己株式取得が大きく影響

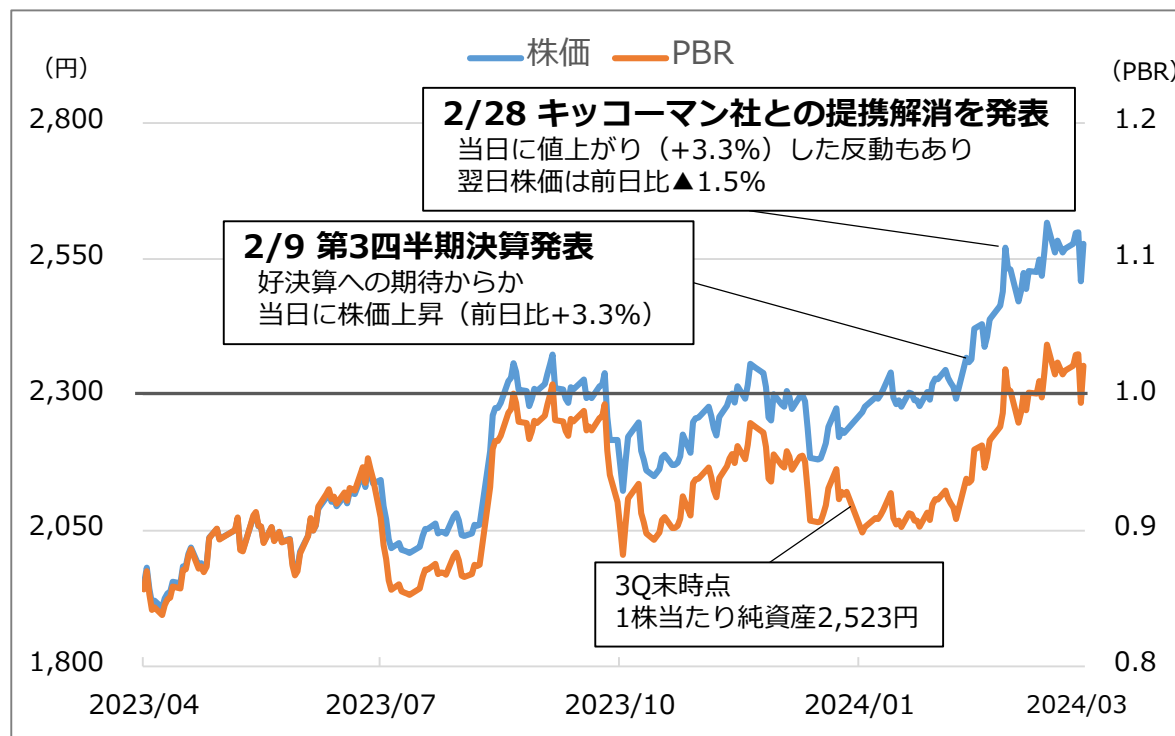
- 営業CFが100億円を上回る
- 設備投資額は増加も、投資有価証券の売却による収入が大きく投資CFは少額

単位：百万円

	2022年度 通期	2023年度 通期	前期比	主な科目
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,835	10,451	+2,615	税金等調整前当期純利益 11,909 投資有価証券売却損益 ▲2,115 法人税等の支払額又は還付額 ▲1,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,034	▲554	+1,480	有形固定資産の取得による支出 ▲2,536 投資有価証券の売却による収入 2,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,578	▲7,084	▲2,506	短期借入金の純増減額 4,100 自己株式の取得による支出 ▲6,360
現金及び現金同等物の期末残高	16,656	20,141	+3,485	

期末時点の株価は2,578円、PBR1.02倍

当社株価とPBRの推移



- 期末時点の株価は前期末比+655円 (+34%)
- 2024年4月以降はPBR1倍を上回る水準で推移

株価変動の要因分析

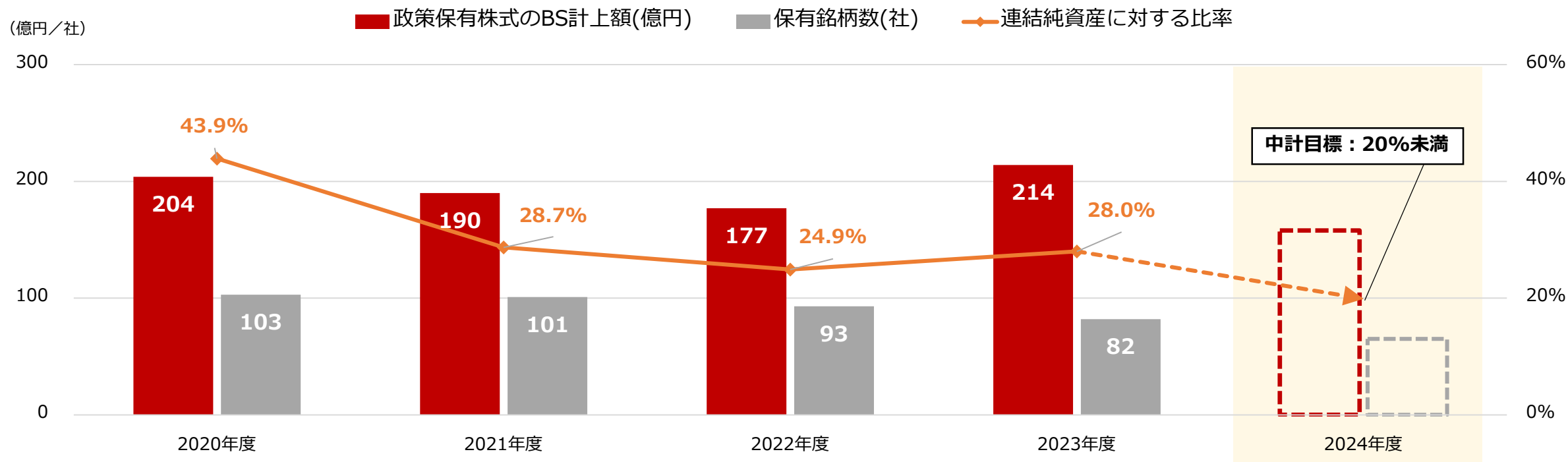
- 好調な業績が株価を押し上げ
- 統合報告書発行、海外投資家へのアプローチなどのコミュニケーションが徐々に株価に反映
- キッコーマン社との提携解消は短期的には株価に影響せず

企業価値向上に向けた取り組み

- 資本コストを上回る資本収益性を確保も株価指標 (PBR・PER) は割安な水準と認識
- 外国人保有比率が1割超英文開示の充実を進める
- わかりやすい開示と建設的な対話により市場の期待と信頼の獲得を図る

日本市場の株高の影響でBS計上額が増加

政策保有株式の保有状況



- 2023年度売却実績は29億円（16銘柄、一部売却含む）
- 株価の上昇や自己株式取得による純資産の減少により連結純資産比率が増加

1. 2023年度 通期業績

2. 2024年度 業績見通し

過去2期は中計に未織込みの要因が業績に影響

● 地政学的リスクの高まり

- ・ 原材料、燃油価格の高騰
- ・ 物流混乱による調達不安



**22年度は海外事業で特需が発生
その後は反動減**

● 異常気象

- ・ 各種農水産物の収穫量減少
- ・ 物流の不安定化



**国内外で価格改定を推進し
利益構造が変化**

● 為替変動

- ・ 中計策定時の前提 116円/\$
- ・ 2023年度期中平均 145円/\$



**海外事業の業績にはプラス
国内事業の利益にはマイナス**

● 急速なインフレ進行

- ・ 社会全体が値上げを受容
- ・ 賃上げ要請の高まり




**23年度は国内事業が好調も
今後は人件費が利益を圧迫**

利益面の業績目標は前倒しで達成

	2023年度 実績	中期経営計画 業績目標	達成状況
売上高	91,484	94,000	未達成
営業利益	9,371	8,000	達成
経常利益	10,296	8,200	達成
親会社株主に帰属する当期純利益	8,755	6,500	達成
ROE	11.8%	8.0%以上	達成

- 事業環境の変化による業績変動が大きく
中計策定時の想定とは大きく異なる
- 中計のローリングはせず
2024年度は単年の業績予想を策定



**2025年5月
次期中計を公表**

- **売上高は10億増の925億円
営業利益は8億減の85億円**
- **国内食品事業は前期並みの売上と営業利益率10%以上を維持**
- **国内化成品その他事業および海外事業は販売数量を回復させ増収を図る**
- **年間配当は23年度と同額の81円を予定**

各段階利益は前期比で減少も、中計目標は上回る

単位：百万円

	2023年度 実績	2024年度 予想	前期比		中期経営計画 業績目標	中計目標比 増減額
			増減額	増減率		
売上高	91,484	92,500	+1,015	+1.1%	94,000	▲1,500
営業利益	9,371	8,500	▲871	▲9.3%	8,000	+500
営業利益率	10.2%	9.2%	▲1.0pt		8.5%	+0.7pt
経常利益	10,296	9,000	▲1,296	▲12.6%	8,200	+800
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,755	8,100	▲655	▲7.5%	6,500	+1,600
ROE	11.8%	10.4%	▲1.4pt		8.0%以上	-

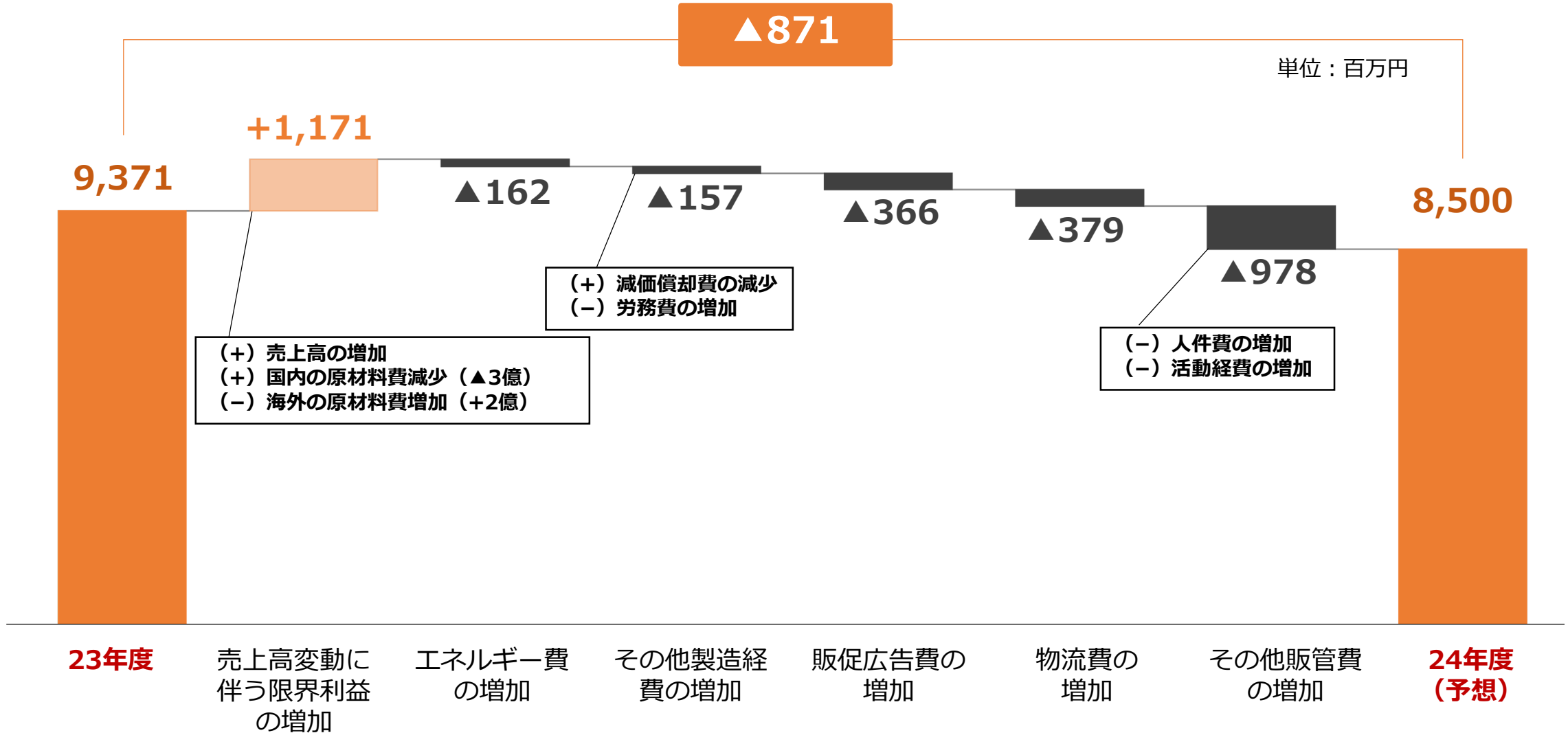
主な増益要因

- 調味料関連の価格改定の浸透
- 低採算品の見直し、コスト削減など収益改善策の推進

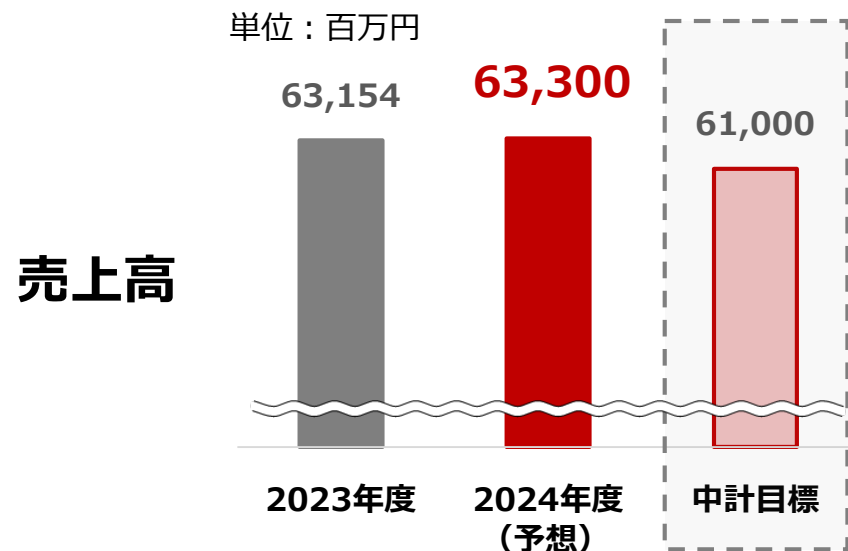
主な減益要因

- 人件費の増加
- 物流費の増加
(物流2024年問題、2大運河の通航制限が影響)
- 広告宣伝費の戻り

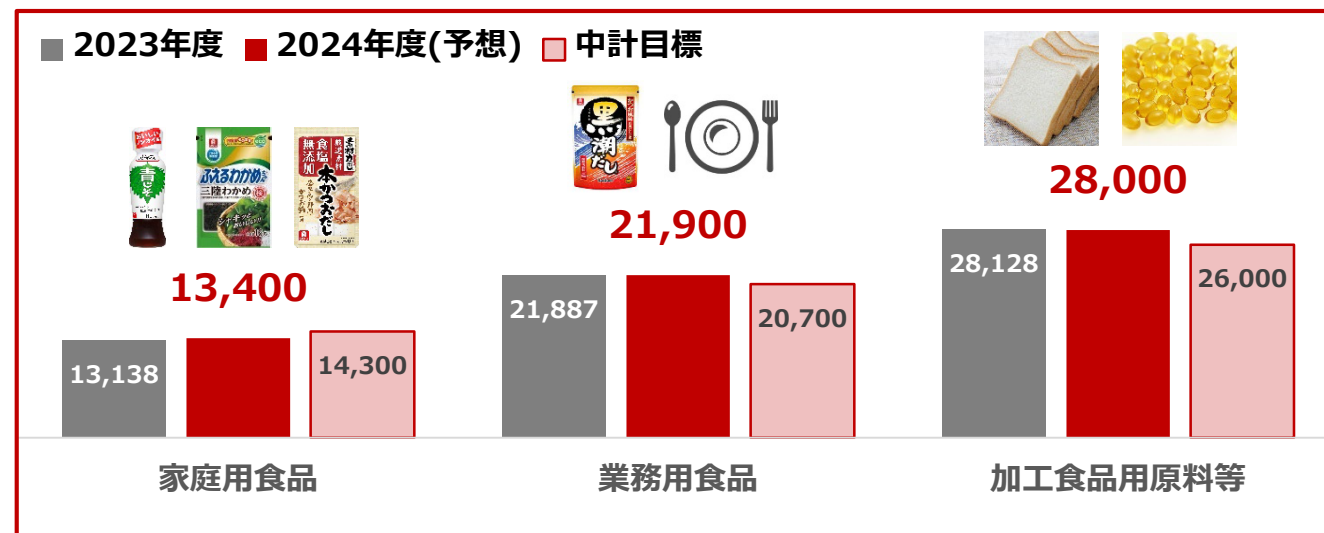
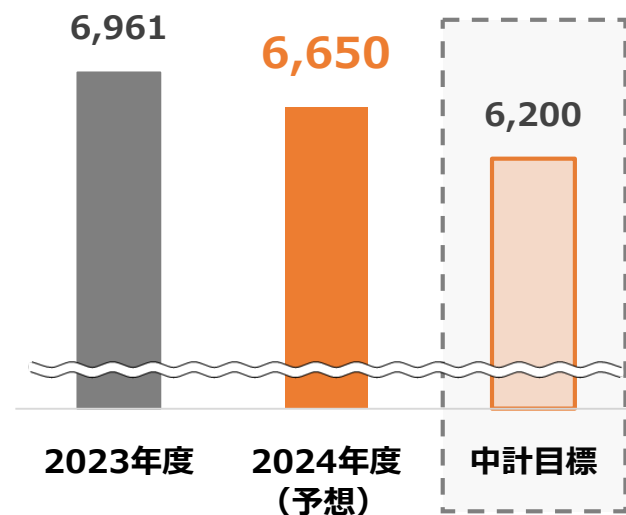
営業利益の増減要因



広告宣伝費の戻りや人件費の増加により減益



営業利益



- 家庭用食品は価格改定効果による増収を見込む
広告宣伝費は低水準だった前期より増加
- 業務用食品は品目集約など利益改善を推進
- 加工食品用原料等はソリューション提案を進めるがヘルスケア分野で前期の反動あり
- 原料要因などで必要な価格改定は迅速に実施する

「リケンのノンオイル 青じそ」 発売35周年



- TVCMなどのプロモーションを通じ20-30代の若年層向けに商品価値を訴求
- 揚げ物などの脂っこい料理に合わせてさっぱりさせる食べ方を提案

素材力だし プロモーション展開



- TVCM、SNS、レシピサイトなどを組み合わせた広告を出稿
- 食塩無添加の健康感、原料へのこだわりによる安心感、おいしさを訴求

コストアップの 課題に対応

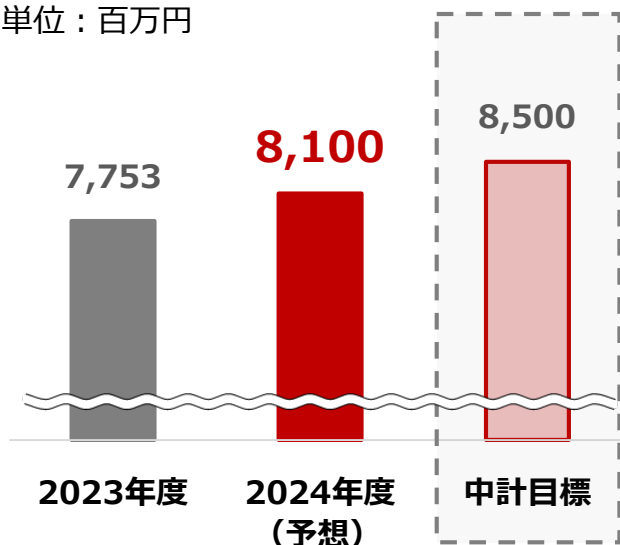


- 原材料価格の高止まり、人件費等のコストアップは業界全体の共通課題
- 生産性向上などコストダウンにつながる提案の需要は引き続き高い

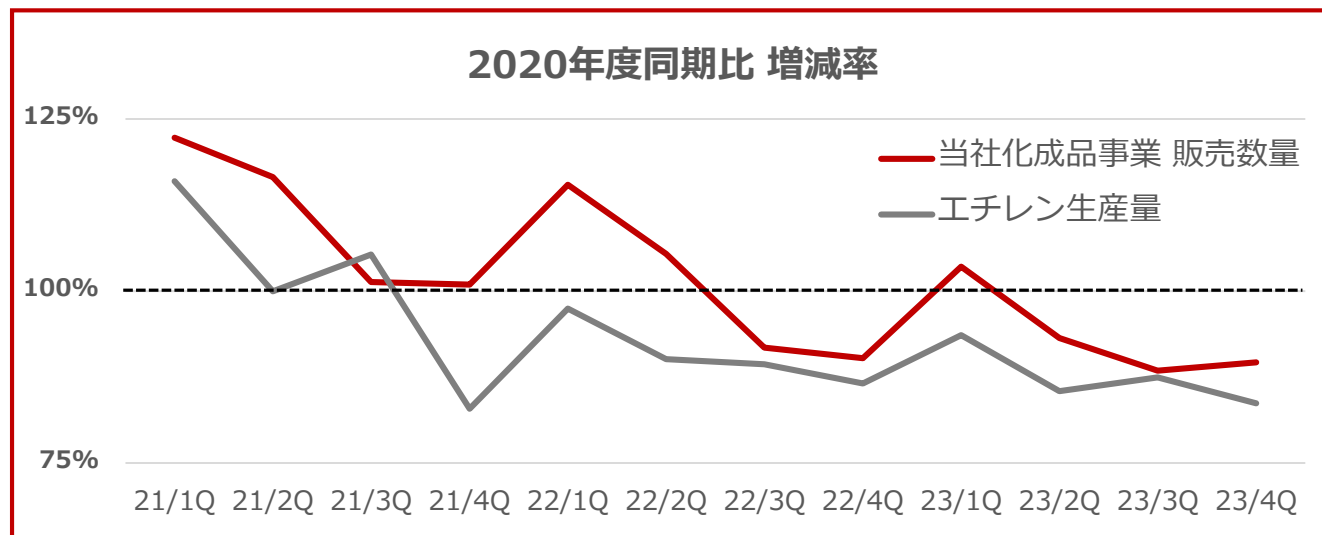
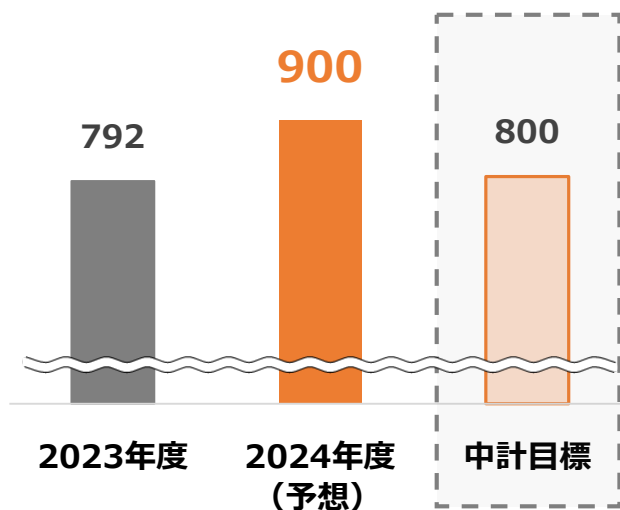
販売数量の回復により増収増益を目指す

単位：百万円

売上高



営業利益



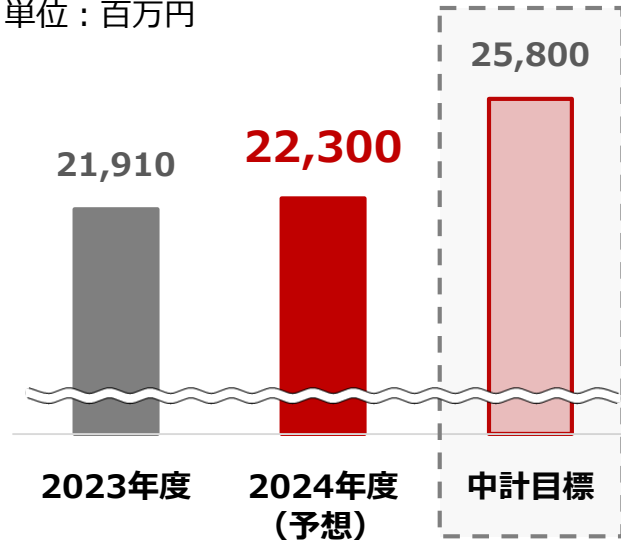
データ出典：石油化学工業協会

- 原料動向に対応した適正な価格政策を徹底
- 業界全体の需要が底入れし、緩やかな回復とともに販売数量増加へ
- 環境対応製品など中長期テーマの提案も継続

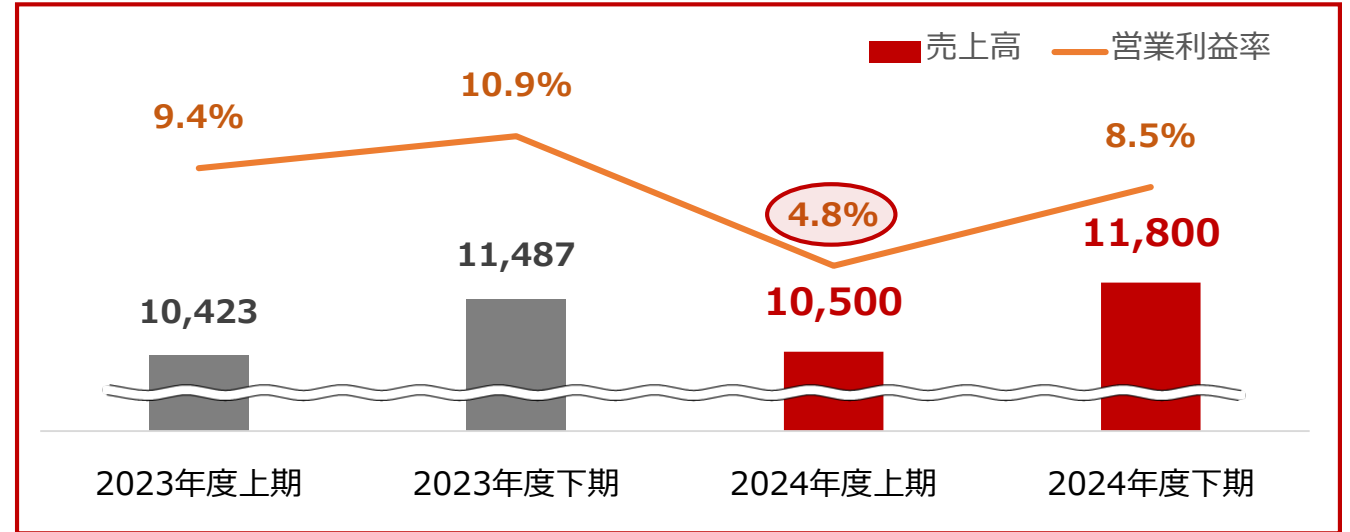
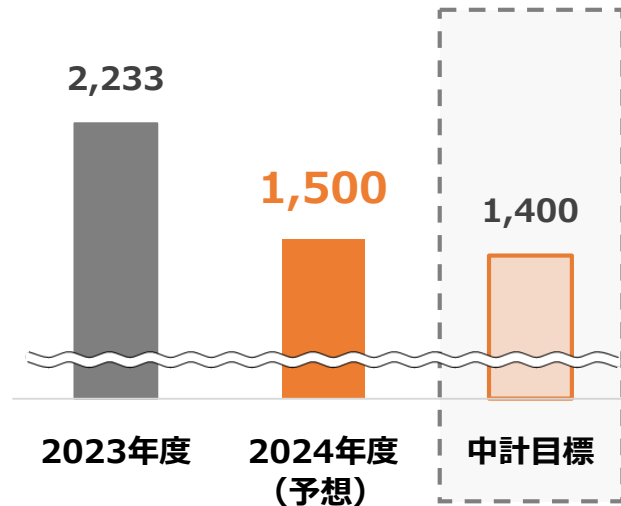
2大運河の通航制限が上期に強く影響

単位：百万円

売上高



営業利益



- 販売数量と利益率のバランスを意識し
販売価格を適正化
- 2大運河の通航制限に伴う欧米向けの物流混乱と
海上運賃の高騰で上期は苦戦
- 下期にかけて利益体質の改善を見込む

中国

- 景気の下げ止まりと緩やかな回復に合わせ販売拡大を図る
- 内陸部の開拓に注力

北米

- 新設のAPC※で付加価値提案を推進
- スエズ・パナマ運河の通航制限等による船賃高騰が利益に影響

※APC = アプリケーションセンター



日本からの技術サポート



ベーカリー向け改良剤などの提案力を強化

ヨーロッパ

- 需要低迷による競争激化に対応
- スエズ運河の通航制限等による船賃高騰が利益に影響

東南アジア

- ベーカリー、乳業業界などを中心に高付加価値品の提案を強化
- 重点エリアの営業体制を強化

台湾・韓国

- 高付加価値品の販売に注力し安定的な利益創出を図る

北米のポークエキス生産能力を増強（2025年9月予定）



Guymon Extracts Inc.

- 主に北米市場向けのポークエキス製品を生産
- Riken Vitamin USA Inc. および卸店を通じてラーメン店や日本食レストランなどに販売



**ラーメン市場の需要拡大に対応するため
生産能力を増強**

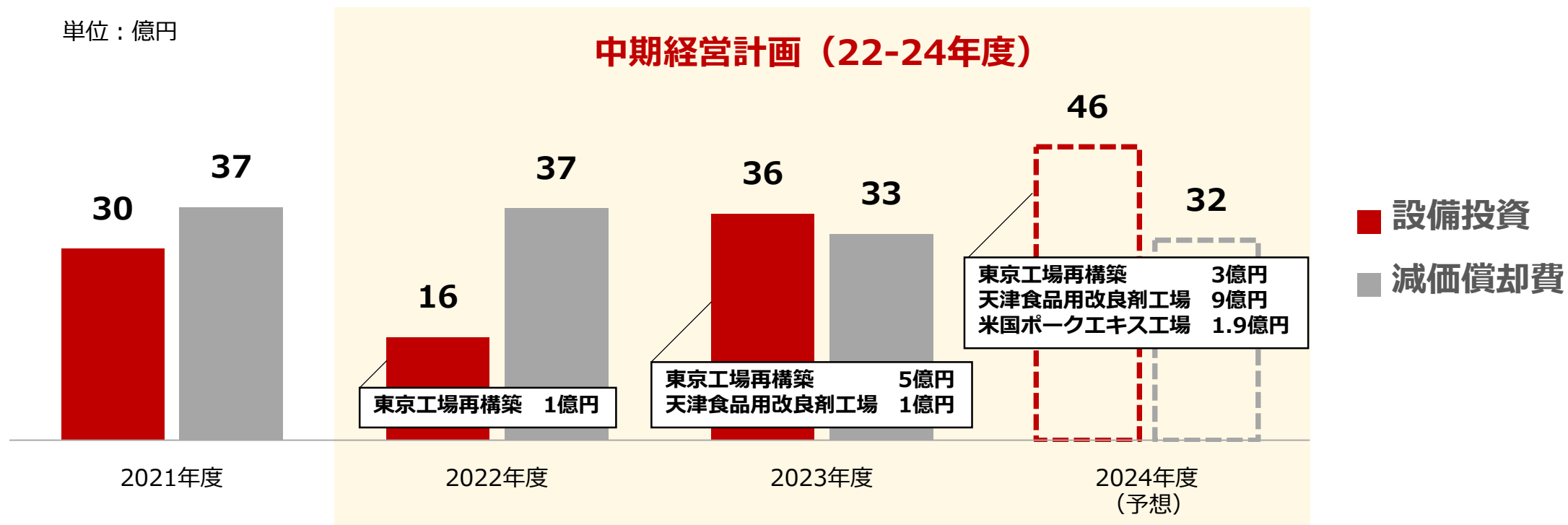


投資概要

会社名	Guymon Extracts Inc.
所在地	アメリカ合衆国 オクラホマ州 ガイモン
生産能力	年間約2,000t（過去3年平均の約1.5倍）
稼働開始	2025年9月予定
投資総額	約1千万ドル

中計での設備投資計画100億円に対し、96億円となる見込み

単位：億円

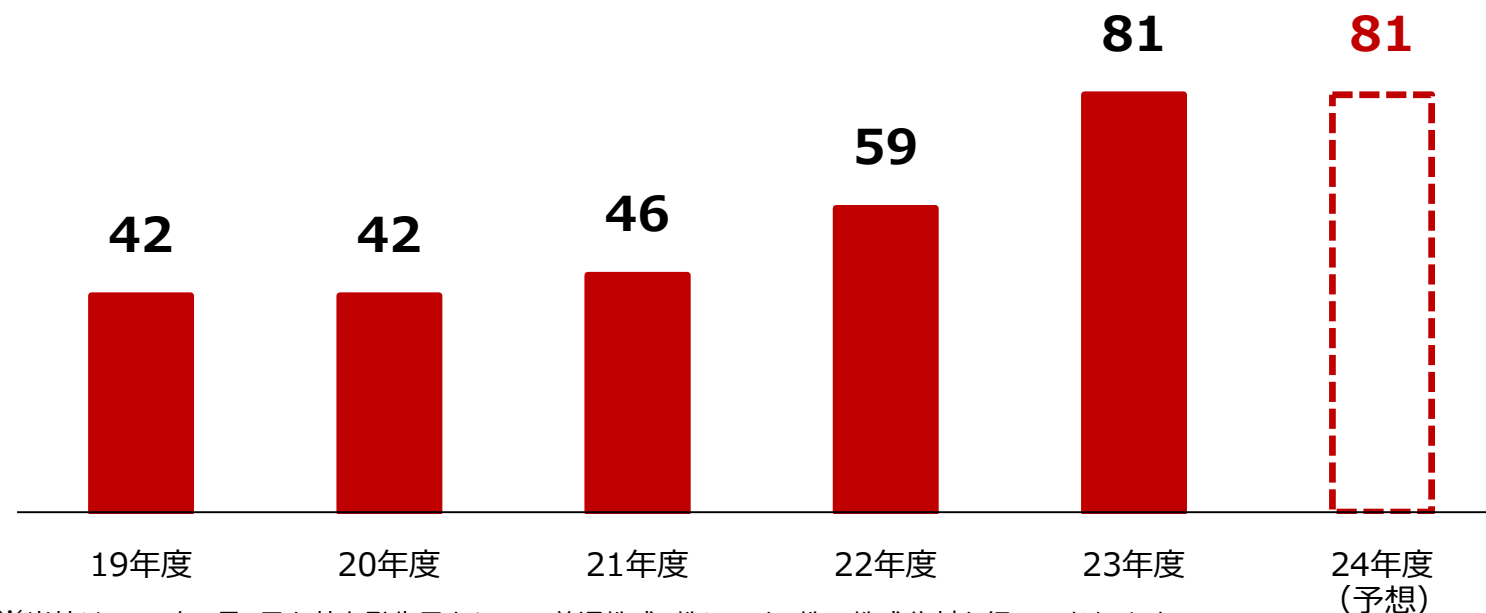


主な設備投資案件

投資内容		投資総額	完了予定時期
国内	東京工場再構築（ビタミンミックス、マイクロカプセル製造設備増強）	23億円	2025年秋 新ビタミンミックス棟稼働開始 （※プロジェクト全体の完了は2027年度）
海外	中国：天津理研維他食品 食品用改良剤新工場建設	22億円	2025年4月 稼働開始
	米国：Guymon Extracts ポークエキス製造設備増強	15億円	2025年9月 稼働開始

配当方針に基づき、年間配当は23年度と同額を予定

1株当たり年間配当金(円)



2024年度 (予想)	
配当金総額 (百万円)	2,472
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	8,100
連結配当性向	30.4%

※当社は2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
上記グラフ中の1株当たり年間配当金は、株式分割後の水準で記載しています。

<配当方針>

経営環境、業績、財務状況、株主還元性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、**連結配当性向30%以上**を目安に安定的な配当を継続して実施

ecoパッケージへの変更を新聞広告で周知

ふえるわかめちゃんから、
ふやさない提案です。



乾燥させることで、おいしいわかめを遠くの方にも食べていただける。ふえるわかめちゃんは48年前、そんな発想から生まれました。環境への負担も、そのまま運送・販売するより軽くできる。食べる人と地球へのささやかな想いを、ちいさな葉に込めてきました。お気づきかはわかりませんが、ふえるわかめちゃんのパッケージには、「産地判別検査合格マーク」がついています。一見、武骨なこのマーク。安全で、産地の確かなわかめであることを微量元素レベルまで徹底的に調べた、私たちなりの安全のあかしです。そして昨年、もうひとつのしるし「ecoマーク」も制定。たとえば、パッケージをスリムにすることで、使うプラスチックの量をへらすことができます。そんな環境への行動を形にしました。食べる人の不安や、地球の負担を、ふやさない。ふやしてはならない。時にはふやさないことも大切にする、ふえるわかめちゃんからの提案です。ふえるわかめちゃん、ecoパッケージに。



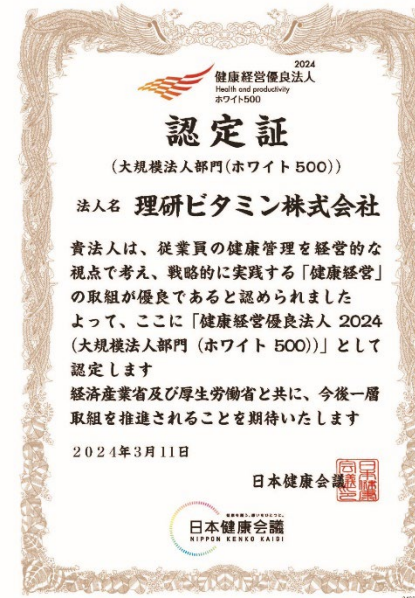
2019年から、微量元素組成による産地判別分析を導入。トレーサビリティとあわせて適した製品に、産地判別検査合格マークをつけています。食べる人の安全と安心を伝えるしるし。



環境省の「環境表示ガイドライン」に則り、2023年からecoマークを導入。ふえるわかめちゃんでは、パッケージのサイズをかきし、プラスチックの使用量を削減。生き物と地球への優しさをしるし。

「健康経営優良法人2024 ホワイト500」認定

- 健康経営優良法人認定は3年連続
- ホワイト500（上位500社）への認定は2019年以来、5年ぶり



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

資本・業務提携は解消も、取引関係は継続

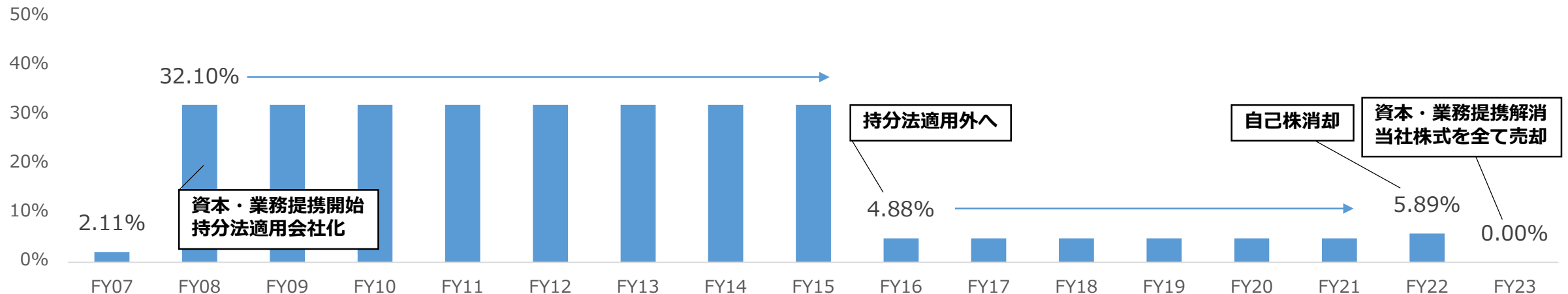
提携の経緯

2008年6月	当社株式の32.1%をキッコーマン社が取得 ▶ 提携開始（当社は持分法適用会社へ）
2016年6月	キッコーマン社の保有株式の一部を当社が取得 ▶ 持分法適用外となる。提携は継続
2024年2月	キッコーマン社の保有株式の全部を当社が取得 ▶ 提携解消 当社保有のキッコーマン社株式は将来的に売却予定

- 調達、物流などの面での協業を通じ一定の成果が上がったと認識
- 政策保有株式縮減の要請の強まりなど両社を取り巻く環境の変化

▼
提携解消

キッコーマン社の保有比率推移（保有数／発行済株式総数）



**持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え
成長する会社になる**



理研ビタミン株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は今後さまざまな要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

経営企画部 広報・IR室 井上・清水

T E L : 03-5362-1315

補足資料

単位：百万円

		2022年度 通期	2023年度 通期	前期比	
				増減額	増減率
国内食品事業	売上高	58,186	63,154	+4,967	+8.5%
	営業利益	4,593	6,961	+2,368	+51.6%
	営業利益率	7.9%	11.0%	+3.1pt	
家庭用食品	売上高	12,727	13,138	+411	+3.2%
業務用食品	売上高	19,588	21,887	+2,298	+11.7%
加工食品用原料等	売上高	25,870	28,128	+2,257	+8.7%
国内化成品その他事業	売上高	7,031	7,753	+722	+10.3%
	営業利益	247	792	+545	+220.5%
	営業利益率	3.5%	10.2%	+6.7pt	
海外事業	売上高	25,155	21,910	▲3,244	▲12.9%
	営業利益	2,688	2,233	▲454	▲16.9%
	営業利益率	10.7%	10.2%	▲0.5pt	

2024年度第2四半期 セグメント別業績予想

単位：百万円

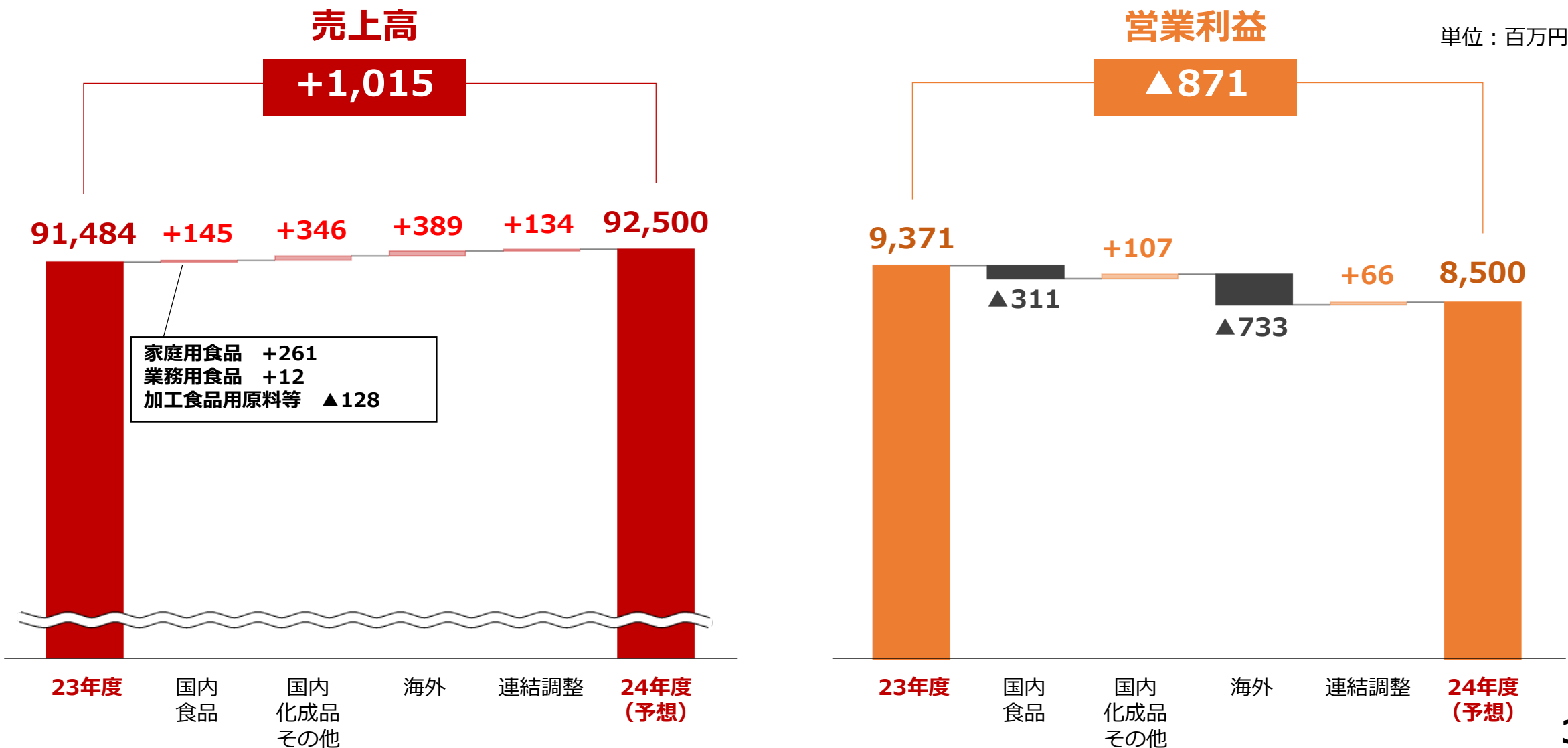
		2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前期比		
				増減額	増減率	
国内食品事業	売上高	31,082	31,600	+517	+1.7%	
	営業利益	3,575	3,400	▲175	▲4.9%	
	営業利益率	11.5%	10.8%	▲0.7pt		
	家庭用食品	売上高	6,606	6,700	+93	+1.4%
	業務用食品	売上高	10,639	11,000	+360	+3.4%
	加工食品用原料等	売上高	13,837	13,900	+62	+0.5%
国内化成品その他事業	売上高	3,771	4,000	+228	+6.0%	
	営業利益	342	400	+57	+17.0%	
	営業利益率	9.1%	10.0%	+0.9pt		
海外事業	売上高	10,423	10,500	+76	+0.7%	
	営業利益	984	500	▲484	▲49.2%	
	営業利益率	9.4%	4.8%	▲4.6pt		

2024年度通期 セグメント別業績予想

単位：百万円

		2023年度 通期	2024年度 通期	前期比	
				増減額	増減率
国内食品事業	売上高	63,154	63,300	+145	+0.2%
	営業利益	6,961	6,650	▲311	▲4.5%
	営業利益率	11.0%	10.5%	▲0.5Pt	
家庭用食品	売上高	13,138	13,400	+261	+2.0%
業務用食品	売上高	21,887	21,900	+12	+0.1%
加工食品用原料等	売上高	28,128	28,000	▲128	▲0.5%
国内化成品その他事業	売上高	7,753	8,100	+346	+4.5%
	営業利益	792	900	+107	+13.6%
	営業利益率	10.2%	11.1%	+0.9pt	
海外事業	売上高	21,910	22,300	+389	+1.8%
	営業利益	2,233	1,500	▲733	▲32.8%
	営業利益率	10.2%	6.7%	▲3.5pt	

全セグメントで増収も、国内食品事業、海外事業は減益の見込み

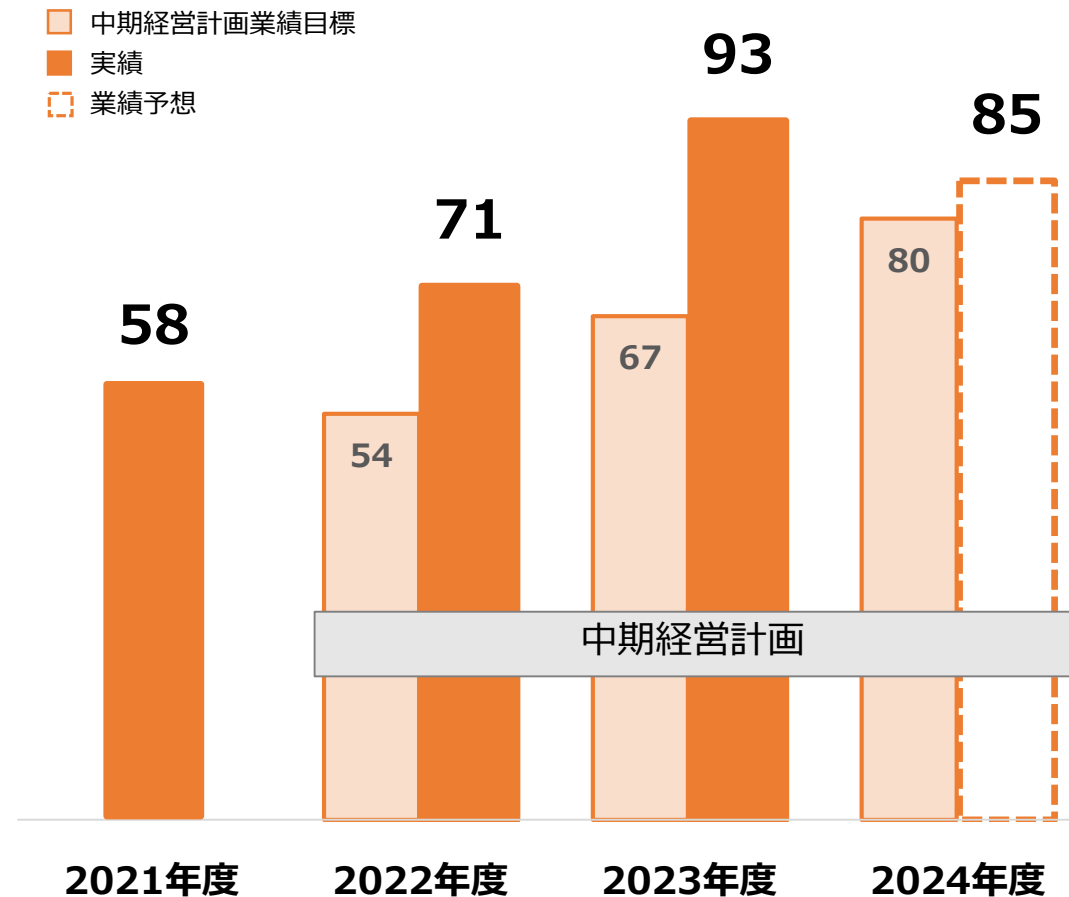
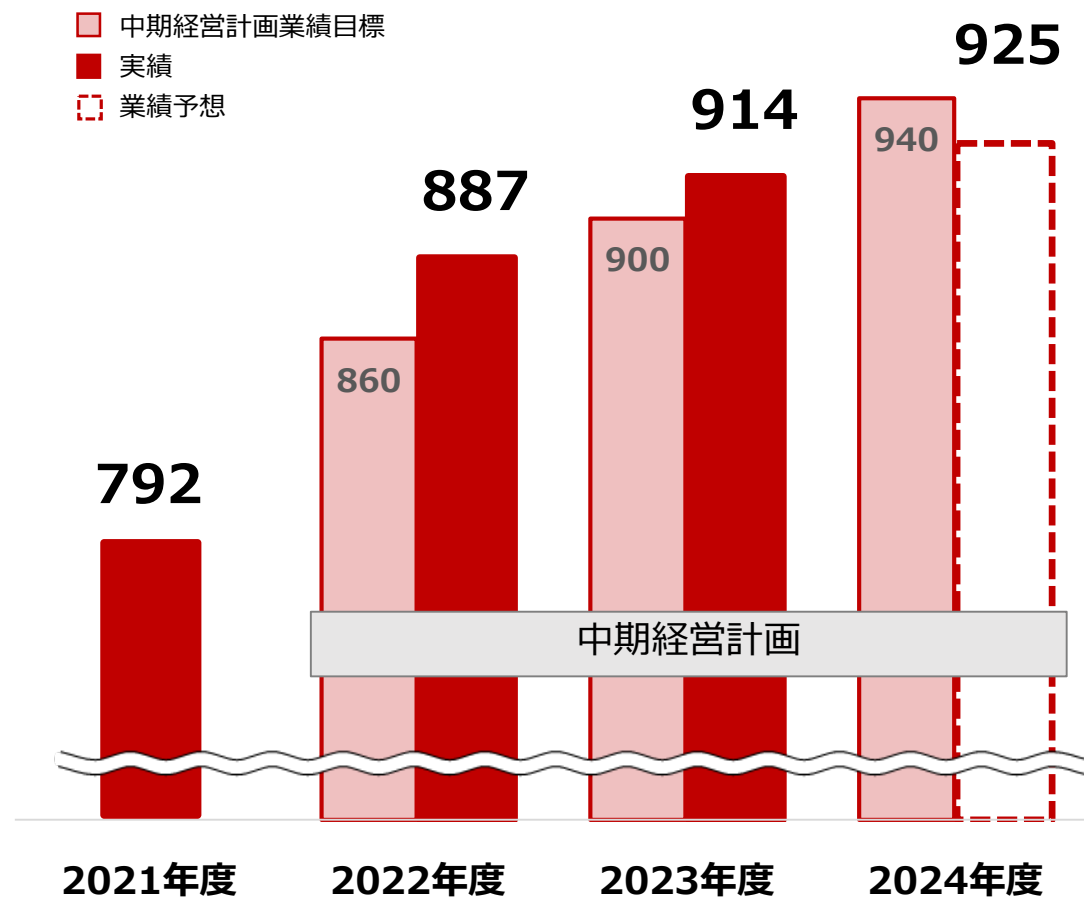


売上高は22年度、営業利益は23年度に大幅伸長

売上高

営業利益

単位：億円



連結業績推移

(百万円)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
売上高	85,603	88,072	87,181	89,515	89,024	82,974	77,722	79,231	88,750	91,484	92,500
前期比増減率	0.2%	2.9%	▲ 1.0%	2.7%	▲ 0.5%	▲ 6.8%	▲ 6.3%	1.9%	12.0%	3.1%	1.1%
営業利益	4,610	6,007	6,820	5,424	4,580	5,307	1,367	5,840	7,158	9,371	8,500
前期比増減率	▲ 8.3%	30.3%	13.5%	▲ 20.5%	▲ 15.6%	15.9%	▲ 74.2%	327.2%	22.6%	30.9%	▲ 9.3%
売上高営業利益率	5.4%	6.8%	7.8%	6.1%	5.1%	6.4%	1.8%	7.4%	8.1%	10.2%	9.2%
経常利益	4,645	5,321	6,248	4,587	4,388	5,045	1,652	6,182	7,723	10,296	9,000
売上高経常利益率	5.4%	6.0%	7.2%	5.1%	4.9%	6.1%	2.1%	7.8%	8.7%	11.3%	9.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,755	4,107	4,089	4,800	2,623	▲ 8,933	▲ 1,618	21,582	6,414	8,755	8,100
売上高当期純利益率	4.4%	4.7%	4.7%	5.4%	2.9%	—	—	27.2%	7.2%	9.6%	8.8%
総資産額	114,049	109,030	109,342	110,994	109,706	101,853	106,535	102,660	105,223	118,776	
純資産額	76,036	74,341	53,611	58,919	59,229	46,789	46,674	66,539	71,371	76,643	
自己資本比率	66.1%	67.7%	48.5%	52.7%	53.5%	45.5%	43.3%	64.8%	67.8%	64.5%	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,941	8,377	8,126	5,753	6,689	5,850	7,660	6,823	7,835	10,451	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,690	▲ 6,389	▲ 3,080	▲ 1,617	▲ 3,388	▲ 4,282	▲ 2,322	▲ 3,661	▲ 2,034	▲ 554	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,222	▲ 3,140	▲ 1,881	▲ 5,869	▲ 2,490	▲ 3,051	▲ 180	▲ 7,565	▲ 4,578	▲ 7,084	
ROE	5.3%	5.5%	6.4%	8.6%	4.5%	▲ 17.0%	▲ 3.5%	38.3%	9.3%	11.8%	10.4%

*2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しています

セグメント別四半期累計業績推移

(百万円)	2022年度				2023年度				2024年度予想	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	上期	通期
売上高										
国内食品事業	14,303	28,230	43,972	58,186	15,626	31,082	48,129	63,154	31,600	63,300
家庭用食品	3,264	6,368	9,682	12,727	3,403	6,606	10,058	13,138	6,700	13,400
業務用食品	4,858	9,416	14,661	19,588	5,397	10,639	16,532	21,887	11,000	21,900
加工食品用原料等	6,180	12,445	19,628	25,870	6,825	13,837	21,538	28,128	13,900	28,000
国内化成品その他事業	1,690	3,492	5,314	7,031	1,879	3,771	5,857	7,753	4,000	8,100
海外事業	5,987	12,775	19,379	25,155	5,052	1,042	16,081	21,910	10,500	22,300
調整額（セグメント間消去）	▲ 411	▲ 867	▲ 1,363	▲ 1,622	▲ 368	▲ 664	▲ 1,010	▲ 1,334	▲ 600	▲ 1,200
連結合計	21,569	43,631	67,303	88,750	22,189	44,613	69,058	91,484	45,500	92,500
営業利益										
国内食品事業	1,312	2,140	3,788	4,593	1,968	3,575	5,823	6,961	3,400	6,650
国内化成品その他事業	97	77	144	247	188	342	557	792	400	900
海外事業	711	1,599	2,311	2,688	479	984	1,723	2,233	500	1,500
調整額（セグメント間消去）	▲ 98	▲ 260	▲ 278	▲ 370	▲ 160	▲ 305	▲ 443	▲ 616	▲ 300	▲ 550
連結合計	2,023	3,557	5,966	7,158	2,476	4,596	7,660	9,371	4,000	8,500
経常利益	2,436	4,149	6,507	7,723	2,998	5,220	8,396	10,296	4,300	9,000
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益	1,833	3,146	4,891	6,414	2,068	3,667	6,080	8,755	3,300	8,100

セグメント別四半期業績推移

(百万円)		2022年度				2023年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	国内食品事業	14,303	13,927	15,741	14,214	15,626	15,456	17,046	15,024
	家庭用食品	3,264	3,104	3,313	3,044	3,403	3,202	3,452	3,079
	業務用食品	4,858	4,558	5,245	4,927	5,397	5,242	5,892	5,355
	加工食品用原料等	6,180	6,264	7,183	6,242	6,825	7,012	7,701	6,589
	国内化成品その他事業	1,690	1,802	1,822	1,716	1,879	1,892	2,086	1,895
	海外事業	5,987	6,788	6,603	5,776	5,052	5,370	5,657	5,829
	調整額 (セグメント間消去)	▲ 411	▲ 455	▲ 495	▲ 259	▲ 368	▲ 295	▲ 345	▲ 324
	連結合計	21,569	22,061	23,672	21,446	22,189	22,424	24,445	22,425
営業利益	国内食品事業	1,312	827	1,648	804	1,968	1,607	2,248	1,138
	国内化成品その他事業	97	▲ 20	67	102	188	153	215	235
	海外事業	711	888	711	377	479	504	739	509
	調整額 (セグメント間消去)	▲ 98	▲ 161	▲ 18	▲ 91	▲ 160	▲ 145	▲ 137	▲ 173
	連結合計	2,023	1,533	2,409	1,192	2,476	2,119	3,064	1,710
経常利益		2,436	1,713	2,357	1,215	2,998	2,222	3,175	1,900
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,833	1,312	1,745	1,522	2,068	1,598	2,413	2,675